

衛生害虫用薬剤の使い方・散布量の目安

①〔ベルミトール水性乳剤（500mLボトル）〕

駆除対象	蚊・ハエ・ゴキブリ等の成虫
散布場所	家屋外・畜舎の回り・側溝の暗きよ等
散布方法	噴霧機により散布
散布量	50倍に希釈（水性乳剤500mL×50倍=25L分） 1㎡当たり希釈液25mL～50mLを目安に散布するため、水性乳剤500mLで500㎡～1,000㎡を散布可能。
散布例	市で貸し出す動力噴霧機は1分間に希釈液500mLを散布でき、水性乳剤500mL（希釈液25L）で50分散布可能。
使用上の注意	散布方法が <u>霧（ミスト）</u> のため、作業の実感が湧きにくく思われますが、効果は変わりありません。 乾いた地面に薬剤を吹きかけ地面の濡れ具合を見るなどして、実際の出方、飛散範囲を確認してください。

②〔バーミレス乳剤（1.8L缶）〕

駆除対象	蚊の幼虫（ボウフラ）・ハエの幼虫（ウジ）・蚊・ハエ等の成虫
散布場所	側溝・水たまり・水槽・竹やぶ・畜舎の回り等
散布方法	ジョロ、噴霧機等により散布。（煙霧機は不可）
散布量	水域に散布する場合 水量1㎡当たり原液10mLを適宜水でうすめてジョロで散布 発生源対策をする場合 400倍の希釈液を1㎡当たり2Lジョロで散布 直接噴霧する場合 100倍の希釈液を噴霧機で散布 （市の動力噴霧機では散布不可）
散布例 （直接噴霧する場合）	幅50cm、水深10cm程度の側溝の場合、 100倍の希釈液を1㎡当たり50mL目安に散布します。

使用上の注意（①②共通）

- 1 必ず希釈して使用し、他の薬剤と絶対に混ぜないてください。
- 2 散布に使用した器具等の中に薬液を残さないてください。
- 3 希釈した場合、本来の効力で使用できるのは1日だけです。必ず使いきってください。
- 3 余った場合、川などに捨てないてください。
- 4 用法、用量を守って使用してください。

㉓〔ミディ発泡錠（錠剤）〕

駆除対象	ユスリカ・チョウバエの幼虫
散布場所	側溝・雨水マス・溜池等・少量の水が停滞するような場所
散布方法	錠剤の薬剤をそのまま水中に投入
散布量	水量30L～60Lに対し1錠
散布例	幅50cm、水深10cm程度の側溝の場合、長さ1mに1錠を目安に散布します。
散布時期	害虫の幼虫時期（春～夏）又は、成虫の発生が多くなる前に散布すると効果的です。

㉔〔シャットアウトSE（粉剤）〕

駆除対象	ヤスデ、ムカデ、ダンゴムシ、ゲジなどの歩行性不快害虫
散布場所	<p>帯状散布</p> <p>家の周囲（犬走りの外側）や虫の侵入口に沿って、5cm幅で散布</p> <p>全面散布</p> <p>発生場所に1㎡当たり20～30g散布</p>
散布時期	雨が降る前の日には散布しないでください。

散布の際の注意事項

- 1 薬剤のラベルに記載上の使用上の注意を守り正しく御使用ください。
- 2 使用の際は安全のために、必ず手袋、ゴーグル、マスクなど保護具を着用するとともに、服装の露出部分を少なくしてください。
- 3 薬剤が体に付着したときは、石鹸でよく洗い、水で洗い流してください。
- 4 下記のものに薬剤がかからないよう特に注意してください。
食品、食器、おもちゃ、衣類、ペット、植物、合成樹脂等
- 5 水域の近くで散布するときは、水棲生物等に対する配慮をして使用してください。
- 6 下水道及び浄化槽設備には薬剤が流れ込まないように注意してください。